

俳句

2月20日(土)
当季雑詠

合田 青幹

春雨と雖も寒し且つ激し

早春の短冊を掛け迎へらる

吉本 伸秋

春浅し遠き野面に立つ煙

せせらぎの音にも芽の勢ひ立つ

小笠原さちを

つつと来て鶉啼ひはむ下萌ゆる

春一番去ってマラソン日和かな

3月19日(土)

須崎市 桑田山

合田 青幹

訝して春鶯の声遠ざかる

車座に和みし句座や春障子

小笠原さちを

せせらぎの曲り角ごと落椿

軒に巣箱下に句会の一会かな

4月16日(土)

いの町鹿敷 土佐和紙工芸村

合田 青幹

春着織る女主に女客

もてなしの抹茶に春を惜しみけり

小笠原さちを

大仁淀奥へと懸かり藤

春風を入れ待ちくれし機舎かな

会費納入のお願い

会費納入をお忘れ
ではありませんか。
振込用紙が無くなっ
た方は、事務局まで
連絡して下さい。

短歌

頑張れ 街頭著名活動
の西高生たち

わが妻が通ひし書塾の美味道
さくらには未だ四分咲きと見る

(三月二十八日、国見病院裏側の川端
の桜並木)

「校名存続のお願い！」とは
西高生ら、応へてサインため
らはずせり

(四月三日、中央公園北の常屋町で)

わが先は如何になるやら八方
破れそれでもなんとか生きね
ばならぬ

貧困家族 山本晶子

正社員になれず年収二百万円
四十一歳独身の息子

(「赤旗日曜版」読者のページ)

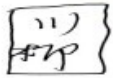
食事をば二食に減らす貧困家
族、軍事費初の五兆円突破

日本人が劣化したのは本当だ
身の毛のよだつ事件の多発

二〇〇号に寄せて 叶岡淑子

ずっしりと「高退協ニュース」
ファイルあり晶子さんに借り
幾夜か見入る

『南溟にはばたく』正・続ひ
もときて辿るは高教組・高退
協の歩み



雑吟集(春) 小笠原さち

安宿の居場所を地帯で
合費を減らす再会の日

羨望の胸に語り対

歳月を重ねてゆく初景色

マイペースに腐けてきました

初月園だより
雑草

島本 聡

「雑草ってどれ」と問う孫
に「雑草と云う草はない」と
気取ったところで通じるはず
もない。ドクダミや、スギナ
などを指さしてい

るうち、「雑草と
は何か」と心配に
なってきた。ドク
ダミは「お茶と薬
にするのでくださ
い」というし、ヨ
モギはオモチに入
れるし、スギナは

つくしの親、農作物としては
作らないにしても、ほとんど
役に立つ、今雑草として除去
するのには悪銭苦闘ミントは、
その匂いを嫌って虫が来ない
とのことで、農園のまわりに
苦勞して植えたものだが、今
では雑草の代表。

ネットのフリー百科事典
Wikipediaをあけると、雑草
の定義がいくつもあつた。その
中では「作物に直接または間
接的な害をもたらし、その生
産を減少させる植物」がよさ
そうだが、アメリカ雑草学会



ずっと下の方では
幼い少女が
たよりない足取りで
うれしそうに、はしゃぎなが
ら坂を駆け上がってくるのが見える。
男は我が子に手をふっていたのだ。
ここまでおいでと。

大きく広げた両手のあの朗らかな肯定感
子供とともに生きることから来ていたのだ。

少女は頂上に近づいてゆく。
男はしゃがんで両手を広げ
子供を迎えようとしている。

少女は両腕の中にとびこむ
と思つたら
小さな手で父親の手をとる
青空の下
春の日さしを浴び

オーバー・ザ・レインボウ

西村 雅人

アーチ型の陸橋の頂上で
若い男が大きく両手を広げている。
ゆっくりと円を描くその様子は
何かを天にむかって肯定するような力強さにあふれている。

私にはセーター
がブランド品などわかるはず
もないが、「すまん」の一言
が言えず、「おいておけば自
然に落ちるわ。」ととんでも
ない反論。今現在5月になる
のにハリネズミの上着とジャ
ーの下着はハリネズミのまま
軒下にかかっている。山田洋
二監督の「家族はつらいよ」
の橋爪功のごときに「あなた
がいることプラスチックショ
ンと」ならないうちに・・・
雑草とは本当に厄介なもの
である。

の「人類の活動と幸福・繁栄
に対して、これに逆らったり
これを妨害したりするすべて
の植物」が今の私にとって一
押しだ。

実はこの初冬、愛犬をわが
農園に放したところ、背丈ほ
どに伸びた雑草の茂みに入り
出てこない。仕方がないので
つれに入ったところ、体全体
がハリネズミ状態。その場で
取り除くのは、
雑草の思惑通り
になるので、家
に持ち帰ったと
ころ、「着てい
るものを考えて、
行動しろ。」と
のきついお言葉。